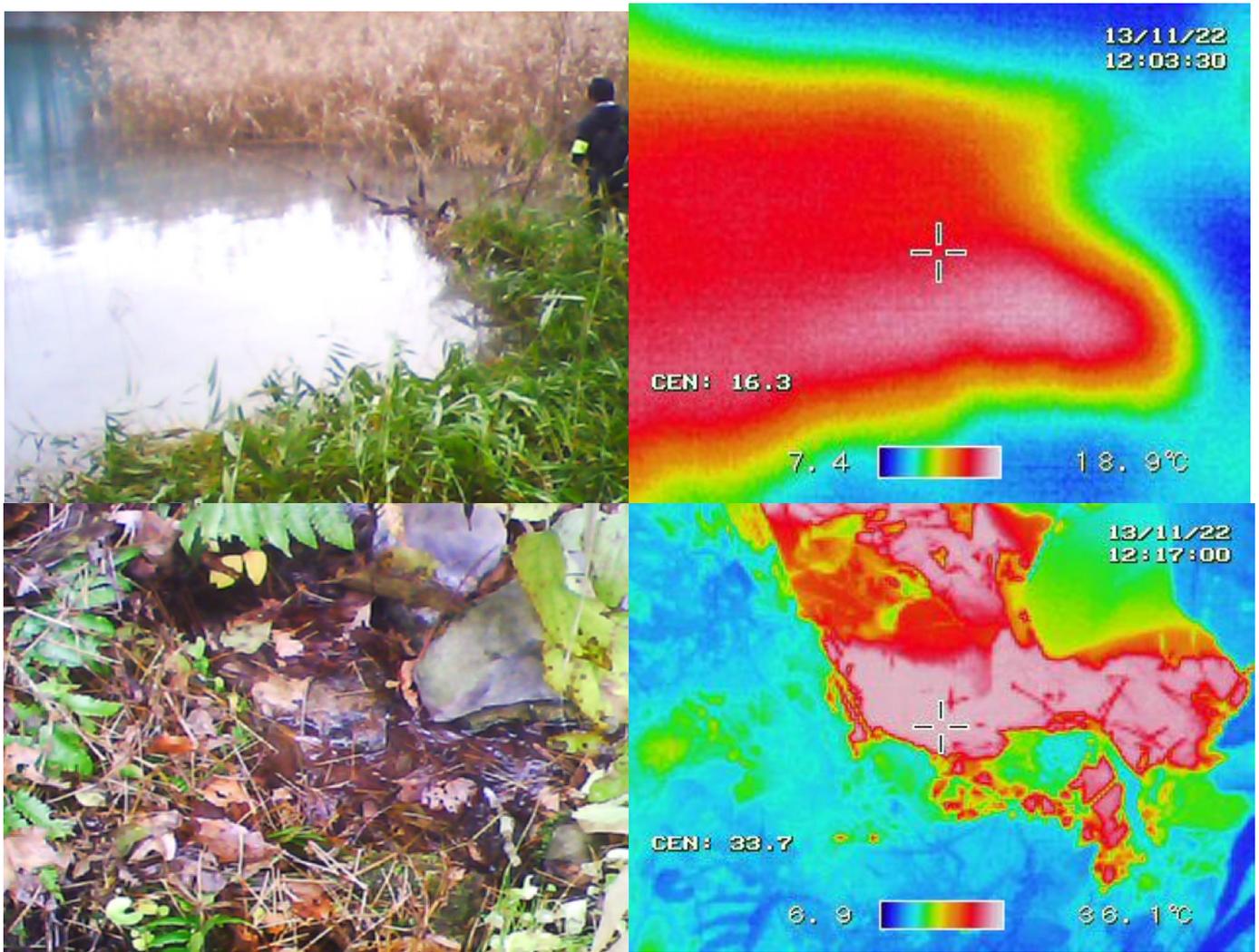


青沼で温泉発生ポイントを発見

11月22日気圏環境解析研究室では、冬季の事例として赤外放射計による冬季の湖沼表面温度観測と分光放射計による湖沼面の分光放射観測を実施するとともに、5月に設置した湖沼表面温度を観測していた温度ロガを回収、新たな温度ロガの設置をしてきました。

現地の気温は4℃から5℃と寒く、時折雪の融解した雨が降る状況でしたが無事観測を終了することができました。

これまで竜沼の水温観測調査から、冬季にも5℃より低下しないことを述べてきましたが、今回青沼で明確な高温水温発生地点を発見することが出来ました。写真は青沼の可視と赤外を写したのですが、上段右では高水温域が18.9℃以上になっていましたので、高温域を追跡した結果、写真下段のように36.1℃以上の水が流入している地点を発見することが出来ました。硫黄臭がし、湯気も発生していました。これまでの水質分析を補強する発見になりました。



写真上青沼の可視(左)赤外(右)画像と
写真下 温泉水流入地点の可視(左)と赤外(右)画像